

水田畦畔の**電気柵下除草に!****カーメックス[®]** 顆粒水和剤カーメックス[®]はイスラエル国アダマ・アグリカルチュラル・ソリューションズ・グループの登録商標です。

雑草が伸びて電気柵に触れると漏電が起こり
電気柵の機能が落ちてしまいます

**電気柵下の雑草管理をしっかり行い
害獣の侵入を防止しましょう**



▲100g袋入り

▲300gボトル入り



水田畦畔の電気柵設置状況

草刈り機による断線防止に除草剤を有効に利用した
電気柵の維持管理をおすすめします

カーメックス[®]**雑草の発生をなが〜くおさえます!**

散布

30日**60日**

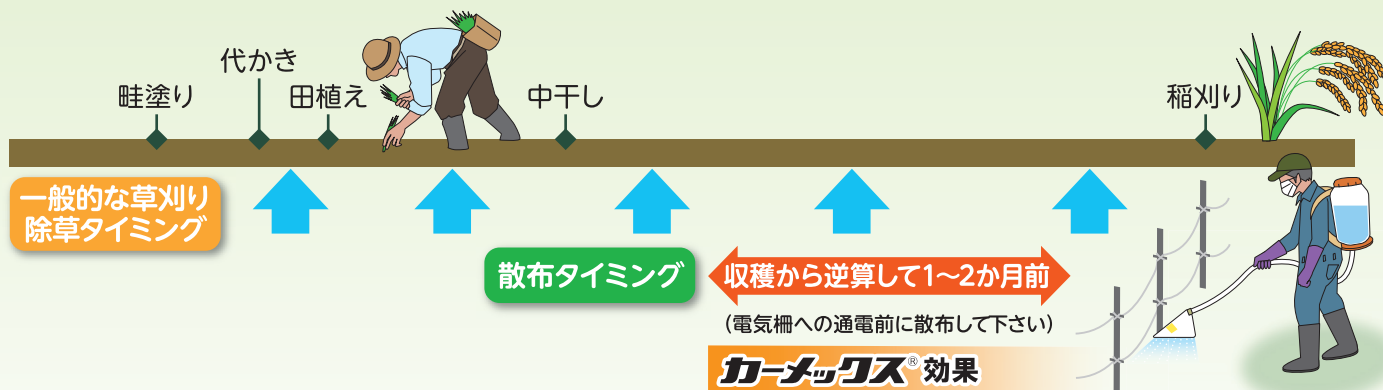
■ 登録内容(関連項目のみ一部抜粋)

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10アール当りの使用量		使用方法	本剤の 使用回数	DCMUを含む農 薬の総使用回数
				薬 量	希 釈 水 量			
水田作物 (水田畦畔)	水田畦畔	一年生雑草	雑草発生前～ 雑草発生前期	150～300g	70～100ℓ	散布 (茎葉兼土壌処理)	1回	1回



丸和バイオケミカル株式会社

散布タイミング



● 上手な使い方

- 散布タイミングに雑草が繁茂している場合には(草丈10cm以上)、**茎葉処理剤との同時処理**をおすすめします。
- 除草剤用展着剤「サーファクタントWK」**を加えることにより除草効果が向上します。

● 散布のめやす

散布器具の水量	畦畔の長さ(散布面積)	使用薬量
10ℓ	長さ100m(100㎡)	30g
18ℓ	長さ180m(180㎡)	54g
33.3ℓ	長さ333m(333㎡)	100g

(電気柵下幅1mを除草する場合、薬量300g/10a、水量100ℓ/10aに基づく)

● 水田畦畔における効果事例(社内試験)

場所：千葉県 散布日：2014年4月11日 薬量：300g/10a 水量：100ℓ/10a (茎葉処理剤を同時処理)



(雑草再発生したため、茎葉処理剤を散布した3日後)

注 意 事 項(抜粋)

- 散布液が**農作物(水稻)**にかからないように注意してください。
- 塗り畦に使用する場合、**畦塗り直後で畦が濡れているときは、水田に流入して薬害を生ずるおそれがある**ので使用しないでください。
- 散布液が水田に流入する恐れがあるところでは使用しないでください。とくに**透水性の大きな畦畔、砂質土では完全に除草**すると畦が崩れたり、散布液が水田に流入し、水稻に薬害を生じるおそれがあるため使用しないでください。
- **翌年に移動する畦畔、または崩して水田にする畦畔**には使用しないでください。

【その他使用上のポイント】

- 本剤は水田畦畔でご使用ください。林地への使用はさけてください。
- 用水路のり面に散布する場合には用水路内に流入しないように注意してください。
- 電気柵通電時には散布しないでください。
- なるべく柵線やガイシ部分に薬液がかからないように散布してください。
- 散布時には柵線に散布器具が接触することによる断線に注意してください。

●ラベルをよく読んでください。●記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。

お求めは…

販売元



丸和バイオケミカル株式会社

■本 社／〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-19-23
TEL 03-5296-2314

■札 幌／TEL 011-222-1285 ■仙 台／TEL 022-261-1103

■名古屋／TEL 052-951-7234 ■大 阪／TEL 06-6484-6850

■福 岡／TEL 092-714-7101

<https://www.mbc-g.co.jp>

お問い合わせ窓口／TEL 03-5962-9731 (9時～17時 土日祝を除く)